

Y11b 大学院生による天文学講座「天塾」～3年目を迎えた学生自主企画～

内藤 誠一郎、花山 秀和、平松 正顕（東大理/国立天文台）、高梨直紘（東大理/天セ）、額谷 宙彦（国立天文台/理研）、佐藤祐介（北大）、日下部展彦、川越至桜（総研大/国立天文台）、鈴木 淳嗣、山本哲也（東大理/国立天文台）、水谷有宏（郡山市ふれあい科学館）

一般向け天文学講座「天塾（あまのじゅく）」は、国立天文台に在籍し研究活動を行なっている有志学生により自主的に運営されている。国立天文台で開催される天体観望会にあわせて、2004年以降毎月1回のペースで開催されており、今年で3年目を迎えている。天塾は大学院生や若手研究者らが天文学研究の現場から直接発信することで最新性と専門性を持つ”生”の天文学、高度な知的充実を提供する試みである。

国立天文台定例観望会の主な対象層である親子連れではなく、学生や一般社会人、高年齢層の関心が高く、”難しいことを理解していくことを楽しむ”という高踏的なスタンスが受け入れられていると考えている。継続的な参加への意欲も高い。

天塾では2005年度より講演内容をインターネットを通じて動画で視聴できる”ビデオ・オン・デマンド(VOD)”コンテンツの提供を開始している。広く天文学に関心のある人々の利用は元より、天文普及・科学教育系諸活動に携わる方にも現代天文学をフォローするチャンネルとして活用してもらえることを期待する。

本発表では開設から3年経過したことで、これまでの参加塾生から得られた意見・要望などをまとめ、科学コミュニケーションの実践として2005年8月に行われた「サイエンス・カフェ」なども含めた天塾の活動成果の報告と、今後の天文普及活動についての1つの方向性を示したい。